

ENEOS 海外渡航支援事業報告書 (学会渡航)

2024 年 12 月 7 日

工学部 工学研究科修士課程 (どちらか〇で囲む)
所属学科・専攻・回生 化学工学専攻 2 回生

氏 名 木村祥也

1. 参加期間 2024 年 11 月 13 日 から 2024 年 11 月 14 日

2. 会場 (開催国・場所・機関等)

The 28th Regional Symposium on Chemical Engineering (RSCE 2024)
Kuta, Bali, Indonesia

3. 発表成果 (概要)

炭素と酸化鉄の固固反応による酸化鉄の接触還元, 及び再酸化による連続的な炭素のガス化により, 炭素に酸化鉄ナノ粒子サイズの細孔を形成することで, 吸着剤や電極への応用が可能なメソポーラスカーボンを製造する方法について発表を行った。

発表内容は, 以下の通りである。

調製したカーボン-酸化鉄ナノコンポジットを無孔性からマイクロ孔を導入することで, コンポジット全体に分散している酸化鉄で再酸化を促進し, これまでよりもより多くの酸化鉄粒子が反応できるように改良した。これによりメソ孔を豊富に形成し応用例次第で増やさなければいけないメソ孔容量の増加に成功した。

4. 奨学金の使途

バリ島への渡航費用(往復) :16 万円
宿泊費(3日間) :3 万円
学会参加費 :2.4 万円